

第27回 産業技術短期大学校 グッドヒューマンネットワーク講座

人工知能は人の仕事を奪うのか？

～音声自動翻訳の研究開発を通じて～



イラスト：石黒正数

※このイラストは(一社)人工知能学会の30周年を記念して作成されたものです。

音声自動翻訳は、人が音声で話した内容をコンピュータで自動認識し、外国語に自動翻訳することによって、外国人との会話を実現する人工知能技術です。今、第三次人工知能ブームともいわれ、画像を認識する正確さで人の能力を超えたり、将棋や碁の世界で世界チャンピオンを凌駕したりと、人工知能が様々な人の仕事を自動化し代替することに大きな期待が寄せられています。また、音声翻訳についても、近年の性能の向上は目覚ましいものがあります。その一方、人工知能が人の仕事を奪ってしまうのではないかとといった不安を訴える方がいらっしゃることも事実です。

本講演では、現在の人工知能技術のトレンドを概観するとともに、これまで研究開発に携わってきた音声自動翻訳技術の仕組みと現状の性能レベルを解説することにより、人工知能は何ができて、何がまだ足りないのかについて考えたいと思います。

講師 **住田 一男 氏**

一般社団法人 人工知能学会 事務局長

プロフィール：

1982年 東工大大学院総合理工学研究科修士課程修了、同年(株)東芝入社

2001～2005年 同社研究開発センター知識メディアラボラトリー室長

2013年 東芝リサーチ・コンサルティング(株)シニアフェロー

2016年7月より(一社)人工知能学会事務局長

1999～2005年 東工大客員助教授、2012～2016年 東工大連携教授兼務、

2010～2012年 情報処理学会監事、2014～2016年 同会理事、2012年3月同会フェロー

2002～2004年 人工知能学会理事、2009～2011年 同会副会長、2014～2016年同会監事。博士(工学)

(株)東芝では音声翻訳等の音声言語処理技術ならびに知的応用システムの研究開発、海外研究所との機械翻訳の研究開発に関するコーディネート業務等に従事



開催日時 平成28年12月14日(水) 13:00～14:30

場所 神奈川県立産業技術短期大学校 4階大教室